

**令和3年度
経営発達支援計画 事業評価報告書**

岩瀬管内商工会広域連絡協議会

須賀川市 鏡石町 天栄村

外部評価の目的

岩瀬管内商工会広域連携協議会（岩瀬商工会、長沼商工会、大東商工会、鏡石町商工会、天栄村商工会）と須賀川市、鏡石町、天栄村は、令和3年3月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受けて小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

本評価は、経営発達支援計画に基づいて実施した事業について、PDCAサイクルによる評価、検証、見直しを行い、次年度以降の各事業に反映させることを目的に行うものである。

事業の実施期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日の5年間

経営発達支援事業の目標

- (1) 事業計画策定支援による地域内商工業者の経営力強化
- (2) 新規創業者を発掘・育成及び事業承継支援によって小規模事業者の減少を抑制
- (3) IT活用支援によるブランド形成・マーケティングの強化

評価基準

- A：実施され効果が見られたもの
- B：実施され効果が期待できるもの
- C：実施されたが効果が見られないもの
- D：実施されなかった、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

評価検討委員

○委員長

鈴木 龍京（税理士・中小企業診断士）

○委員

佐藤 茂吉（岩瀬商工会副会長）

江連 司（長沼商工会理事）

佐藤 成行（大東商工会顧問）

廣瀬 茂（鏡石町商工会副会長）

須賀 道雄（天栄村商工会副会長）

須田 勝浩（須賀川市経済環境部商工課長）

菊地 勝弘（鏡石町産業課長）

黒澤 伸一（天栄村産業課長）

目黒 孝幸（福島県商工会連合会 中通広域指導センター主任主査）

1. 地域の経済動向調査に関すること

●計画概要

国が提供するビッグデータを活用し、地域の経済動向に関する情報の収集を行い分析する。又、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的に行う。調査分析結果は、管内小規模事業者に対して広く公表する。

●実施内容

・地域経済動向調査事業

①国が提供するビッグデータの活用

「REASAS」(地域経済分析システム)を活用し、岩瀬管内の経済動向の分析を行い、年1回公表する。

②中小企業景況動向調査の充実

管内の景気動向等について、より詳細な実態を把握するため、現在行っている全国商工会連合会の「中小企業景況動向調査」に独自の調査項目を追加し、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的(四半期ごと)に行う。

【調査対象】管内小規模事業者 20 社

(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業から均等に選定する)

【調査項目】売上額、業況、採算、資金繰り、雇用、設備投資、経営上の問題等

【調査手法】経営指導員等による聴き取り調査

【調査回数】6月・9月、11月、3月の年4回

【集計分析】経営指導員が必要に応じて外部機関と連携し分析を行う。

(※) R3 年度及び R4 年度は 20 社、R5 年度以降は 30 社を対象とする。

●目標及び実績

内容	目標	実績
①ビッグデータ活用による地域の経済動向分析の公表回数(回)	1	1
②中小企業景況動向調査公表回数(回)	4	4

●自己評価

▼須賀川市、鏡石町、天栄村について REASAS による地域経済動向の分析を行った。分析した資料は HP で公開した他、創業セミナーの資料としても活用することで情報提供を行った。景況調査については、計画どおり 4 回実施することができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5		

●評価委員によるコメント

- ・目標が達成されており、分析した結果を活用し情報提供を行っている。
- ・計画通りに実施されている。分析結果を今後に役立てて欲しい。
- ・調査・分析のみに留まらず、広く周知し、創業セミナー等でも利活用されている点が良いと思う。
- ・データをもっと広く公開した方が良い。
- ・地域の経済動向調査において、中小企業の景気の良し悪しの実感である景況感の把握を行い、地域全体の景気の流れを把握するために、有用な調査となる。本年度はRESAS(地域経済分析システム)を活用した経済動向の分析により新たな視点を醸成できたものと思われる。
- ・創業セミナーの資料への活用等は、本計画の実施において大変有意義な取組みである。

2. 需要動向調査に関すること

●計画概要

より効果的な事業計画策定を行うための基礎データとして活かすため、来店客に対する調査用紙を設置したアンケート調査、又はホームページやSNSを活用したWEB調査を実施する。調査結果は分析した上で支援先にフィードバックすることで、需要を見据えた新商品開発や事業計画策定ができるよう支援する。

●実施内容

・WEBアンケート調査

SNS活用個別相談を行う事業所のうち、希望者に対して需要動向調査について案内を行った。

(調査方法)

アンケート票又はGoogleフォームを活用

【想定支援先】販路開拓を課題とする小規模事業者

【サンプル数】1事業者あたり50人

【調査手段・手法】アンケート票又はWEB上の調査により行う。

【分析手段・手法】調査結果は経営指導員が、専門家等と連携し分析を行う。

【分析結果の活用】分析結果は、経営指導員が当該小規模事業者に対し直接説明する形でフィードバックし、分析結果に基づいた商品改良や商品開発、事業計画策定を支援する。

・事業計画策定支援を通じた需要動向分析

事業計画策定支援の際に、市場、商圈、消費者ニーズ等の分析を行い計画策定に活用する。

●目標及び実績

内容		目標	実績
需要動向調査事業者数		50	21
内訳	岩瀬商工会	10	6
	長沼商工会	10	2
	大東商工会	8	2
	鏡石町商工会	14	8
	天栄村商工会	8	3

●自己評価

▼今回は、WEBアンケート調査は、希望者を募ったものの実施にまで至らなかった。来年度は、実施方法、案内方法等を含めて経営支援会議で再検討を行いたい。まずは、事

業所に需要動向分析の必要性を理解してもらうことも重要である。

- ▼事業計画策定の際に、市場規模、商圈調査、販売データ等から需要動向調査を行い計画策定に活用した。
- ▼今後も調査だけで終わることのないように、調査結果を分析し活用することで支援先が需要を見据えた商品開発や事業計画策定を支援していきたい。
- ▼SNS 活用個別相談では、Google アナリティクスや Google マイビジネスのインサイト機能等の解析ツールを活用し訪問者数やページビュー数などのデータの計測を行った。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	1	5	2	2

●評価委員によるコメント

- ・WEB アンケートを実施して欲しい。調査だけでなく企業支援に繋げて欲しい。
- ・実績が少なく内訳に偏りがあるように思われる。WEB 調査の実施方法を理解してもらう必要があると思う。サンプル数が取れなければ次への活用も難しいと思う。
- ・新たな手法としてWEB アンケートはアイデアとして良い。次年度の実施に期待したい。
- ・今回の需要動向調査はWEB アンケートを計画していたものの、希望者が集まらずに未実施だった。WEB アンケートに関しては、地域で行うアンケートと比べ、有意義な情報収集のためには設計方法も異なるため、次年度への課題として欲しい。

3. 経営状況の分析に関すること

●計画概要

事業計画策定セミナー等の機会を通じて、予め経営分析が必要な事業者の掘り起こしを行い、経営分析を実施する。分析では、財務内容だけでなく、保有する技術やノウハウ、経営資源等の経営実態を把握する。

●実施内容

・経営分析支援事業

・経営革新計画策定セミナー

開催日 令和3年8月4日(水)

場 所 鏡石町「鏡石館」

受講者 15 事業所 (岩瀬 8、長沼 4、天栄 3) 講師 中小企業診断士 綿貫有二氏

・創業セミナー

開催日 令和3年10月13日(水)、14日(木)、20日(水)、
21日(木)、27日(水)、28日(木) 全6回

場 所 鏡石町「鏡石館」

受講者 15名

講 師 中小企業診断士・税理士
鈴木龍京 氏

●目標及び実績

内容	目標	実績
セミナー開催回数	1	2

内容	目標	実績	
経営分析件数	100	160	
内訳	岩瀬商工会	20	60
	長沼商工会	20	19
	大東商工会	15	15
	鏡石町商工会	30	32
	天栄村商工会	15	34

●自己評価

▼経営革新計画策定セミナー及び創業セミナーを通して、経営分析の重要性を認識しても

らい経営支援に繋げることができた。

▼事業計画策定および各種補助事業申請の際に経営分析を実施した。専門家も活用しながらより丁寧な分析を行うことができている。分析件数においても目標件数を上回ることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1		

●評価委員によるコメント

- ・実施計画どおり実行でき、目標を上回ることが出来ていたので良かった。
- ・各商工会で継続して頑張ってもらいたい。コロナ禍の中で良くやったと思います。
- ・実績が大きく上回っており、事業の重要性や関心が感じられる。引き続き経営支援に努めてほしい。
- ・経営状況を的確に把握することは重要であると思う。
- ・事業計画策定に必要な経営分析についてセミナーを開催する等、幅広いニーズに応える形で実施されており、評価できる。
- ・セミナーにおける集客の成果を個社支援の充実に繋がられていることが、本地域商工会の強みともいえる。経営革新計画に関してはコロナ禍の中、事業者のモチベーションの維持・向上に寄与したものである。

4. 事業計画策定支援に関すること

●計画概要

専門家と連携し、事業計画策定セミナー、個別相談会を実施し「新たな取り組み（経営革新）」に意欲を持つ事業所を発掘し、環境の変化に対応した事業計画の策定を支援する。又、事業承継・創業支援を専門家と連携しながら実施する。

●実施内容

①経営革新計画策定セミナー

開催日 令和3年8月4日(水)

場 所 鏡石町「鏡石館」

受講者 15事業所（岩瀬8、長沼4、天栄3）

内 容 事業計画作成に向けての意欲向上、個別相談への誘導を図るための集団指導

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

②経営革新計画策定個別相談会

開催日 令和3年8月17日（火）～12月8日（水） 実施回数 48回

場 所 相談事業所 13社 [個別指導]

内 容 経営革新申請における事業計画作成支援 11社【10社承認、1社申請中】

③創業セミナー

開催日 令和3年10月13日(水)、14日(木)、20日(水)、
21日(木)、27日(水)、28日(木)

全6回

場 所 鏡石町「鏡石館」

受講者 15名

内 容 既存の創業セミナーに副業やセカンドキャリアを目指す方をターゲットに加えることで、創業を考える潜在的予備軍の掘り起こしを図った。

講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京 氏
株式会社ソーシャルスピーカー 久野雅己 氏

④創業個別相談会

開催日 令和3年11月24日(水)

場 所 大東商工会館 1社 [個別指導]

内 容 創業に関する個別相談

⑤持続化補助金申請個別相談会

開催日 令和3年8月6日(金)・9月27日(月) 実施回数 2回

場 所 大東商工会館・岩瀬商工会館 2社 [個別指導]

内 容 持続化補助金申請に係る事業計画策定個別相談

●目標及び実績

内容		目標	実績
事業計画策定件数		55	80
内訳	岩瀬商工会	11	33
	長沼商工会	11	8
	大東商工会	9	7
	鏡石町商工会	15	16
	天栄村商工会	9	16

内容		目標	実績
創業支援及び創業計画策定件数		10	12
内訳	岩瀬商工会	2	1
	長沼商工会	2	0
	大東商工会	1	1
	鏡石町商工会	3	7
	天栄村商工会	2	3

- ・小規模事業者持続化補助金：10件採択
- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金：4件採択
- ・ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業：7件採択
- ・事業再構築補助金：1件採択
- ・IT導入補助金：1件採択
- ・中小企業等グループ補助金申請
 - 鏡石町商工会を中心としたグループ10社
 - 岩瀬商工会を中心としたグループ4社

●自己評価

- ▼経営革新計画策定セミナーでは、職員が巡回等で経営革新に意欲のある事業所に参加勧奨を行い、参加者を確保することができた。セミナー参加によって経営計画の必要性を認識し、多くの方が個別相談から経営革新計画申請に繋げることができた。
- ▼経営革新計画策定個別相談会は計画策定セミナーの参加者の中から11社が経営革新計画策定に取り組み申請に至った。商工会によって申請件数に偏りがあるため経営革新計画の案件発掘のノウハウの共有も図っていきたい。
- ▼創業セミナーは平日夜間に変更して以降、順調に参加者が集まっており今年度15名と過去最多の参加者を集めることができた。又、フリーペーパーへの広告掲載による周知

も効果があったと思われる。今年度は、参加者数は多かったものの比較的創業までのステージとしては構想段階の方が多かった。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1		

●評価委員によるコメント

- ・商工会職員の努力と事業者の希望が合った結果と思う。
- ・グループ補助金の対応は良かった。
- ・多くの創業者が生まれることを希望する。
- ・創業セミナーは、更に広告等のPRの充実を図るべき。夜間の開催は良かった。
- ・実績が上回っており補助金採択も数多く受けることができおり事業の有効性があると感じた。
- ・創業セミナーによって、実際に創業に結び付いていることは評価できる。
- ・目標を上回っており評価できる。また各種補助金の採択を受けていることから評価できる。
- ・中期的な経営の在り方や目指すべき指針としての位置づけとして、計画策定の段階での事業者との対話や思いを重視し自走化を促す支援をしてもらいたい。
- ・事業計画策定支援に関しては専門家と連携することで、より効果的な支援を行うことができたと考える。特に経営革新計画は毎年大きな成果を上げており、当地域支援の強みとして定着している。
- ・創業支援においては、新たな潜在的創業希望者の発掘のために平日夜間に開催されたが、今回はコロナウイルス感染症が落ち着いている段階での開催でもあったため、より漠然とした段階で参加する受講生も多く、その時流の変化を感じ取りながら効果的な開催を続けることを期待する。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

●計画概要

事業計画策定後に、定期的にフォローアップを行い計画の進捗状況の確認を行う。その際に計画実行のための課題を抽出し支援策を検討する。支援にあたっては、専門家も活用しながら計画を次の段階へ進められるよう支援を行う。

●実施内容

①経営革新承認企業計画実行支援事業

(1) 計画実行グループ支援

・経営革新承認企業フォローアップセミナーⅠ

開催日 令和3年7月28日(水)

場 所 長沼商工会館

受講者 10事業所(岩瀬4、長沼4、大東1、鏡石1)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

・経営革新承認企業フォローアップセミナーⅡ

開催日 令和4年1月27日(木)

場 所 岩瀬商工会館

受講者 13事業所(岩瀬4、長沼5、鏡石2、天栄2)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

(2) 計画実行個別支援

実施日 令和3年8月4日(水)～18日(木) 実施回数 10回

場 所 相談事業所 10社 [個別指導]

内 容 経営革新計画により立案した行動計画の確認、計画を実行するための課題を抽出し実行に向けたアドバイスを行った。専門家の支援だけでなく各職員は日々の巡回訪問を通して伴走支援を行った。

②創業支援のフォローアップ

創業者については、各支援分野においてきめ細かな計画策定の支援を行いながら開業及び開業後の安定経営に向けてフォローアップを行った。また、補助金の活用等について情報提供を行った。

●目標及び実績

内容		目標	実績
事業計画策定後のフォローアップ事業者数（社）		65	43
内訳	岩瀬商工会	13	10
	長沼商工会	13	6
	大東商工会	10	1
	鏡石町商工会	18	15
	天栄村商工会	11	11

内容		目標	実績
事業計画策定後のフォローアップ延件数		325	230
内訳	岩瀬商工会	65	72
	長沼商工会	65	40
	大東商工会	50	6
	鏡石町商工会	90	72
	天栄村商工会	55	40

内容		目標	実績
事業計画策定後の売上増加企業数		20	4
内訳	岩瀬商工会	4	1
	長沼商工会	4	1
	大東商工会	3	0
	鏡石町商工会	6	2
	天栄村商工会	3	0

●自己評価

- ▼昨年度は、新型コロナ対策ということでグループ支援を行うことができなかったが、今年度は感染対策を取りながら、専門家を交えグループ支援を行うことができた。グループ支援によって他の承認企業の良いところを共有しながら計画実行のモチベーションを高めることができた。
- ▼フォローアップ企業数は目標未達であったが、昨年より件数を増加させることができた。コロナ禍であったため巡回等制約があった中でも、フォローアップ延件数は230件と昨年よりは若干増加し丁寧且つ効果的なフォローアップ支援を行うことができた。（支援件数：昨年延215件）（支援企業数：昨年37社）
- ▼創業者のフォローアップでは、今年度の創業セミナーの参加者の他、昨年度以前の参加者についても記帳指導等を中心に日頃の巡回訪問等を通して継続した支援を行った。専門家による個別相談も実施し創業に向けた課題解決を支援した。

▼創業者のフォローアップは、これまで職員による個別支援が中心だったが、フォローアップセミナーなど専門家も活用しながら継続的に創業意欲を高める仕組みづくりを検討していく必要がある。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	1	7	2	

●評価委員によるコメント

- ・目標を立てフォローアップまでは良いが実績がまだ伴っていないと感じた。
- ・売上増加企業がもっと増えると良いと思う。
- ・コロナ禍の中、昨年より件数が増えている。実績内訳に偏りがあるように見受けられる。
- ・フォローアップは、昨年より増加しているものの、更に売上増加に繋がればより望ましい。
- ・経営革新計画や創業意欲を形骸化させないための、フォローアップは大変重要となる。本取組における充実したフォローアップは当地域商工会の特徴でもあるが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で昨年行われなかったセミナーを行えたことは支援の中でプラスであった。
- ・創業塾参加者に対するフォローアップに関して件数は1件であったが、その後、事業者が安心して事業が営めるように、伴走型の支援を継続して頂くことを期待する。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

●計画概要

I Tを活用した販路開拓を支援し、ブランド形成・マーケティングの強化を図る。また、E Cサイトへの出品や商談会への出展についても支援し、新規取引先開拓を図る。

●実施内容

① I Tを活用した販路開拓（B to C）

（1）SNS活用セミナー

開催日 令和3年9月7日（火） 場所 天栄村山村開発センター
参加者 21名（岩瀬2、長沼3、大東2、鏡石5、天栄9）
講師 ㈱ソーシャルスピーカー 久野雅己 氏

（2）SNSで映える写真撮影セミナー

開催日 令和3年11月25日（木） 場所 岩瀬商工会館
参加者 19名（岩瀬4、長沼6、大東1、鏡石3、天栄5）
講師 ㈱ソーシャルスピーカー 久野雅己 氏・カメラマン 吉田和誠 氏

（3）SNS活用個別相談会事前セミナー

開催日 令和3年9月10日（金） 場所 長沼商工会館
参加者 7名（長沼4、鏡石1、天栄2）
講師 ㈱ソーシャルスピーカー 久野雅己 氏

（4）SNS活用個別相談会

開催日 令和3年9月13日（月）～11月19日（金） 実施回数 30回
場 所 各商工会及び相談事業所
相談者 12社（岩瀬2、長沼4、鏡石3、大東1、天栄2）
内 容 ソーシャルメディアの活用について

（5）SNS活用個別相談成果発表会

開催日 令和3年12月15日（水）
場 所 岩瀬商工会館
参加者 9名（長沼3、大東1、鏡石3、天栄2）
講師 ㈱ソーシャルスピーカー 久野雅己 氏

②商談会等を活用した販路開拓（B to B）

E Cサイトへの出品や商談会への出展について情報提供を行った。

●目標及び実績

内容		目標	実績
E C サイト出品企業数		7	0
内訳	岩瀬商工会	1	0
	長沼商工会	1	0
	大東商工会	1	0
	鏡石町商工会	3	0
	天栄村商工会	1	0
売上額／社		10 万円	0

内容		目標	実績
商談会参加企業数		7	0
内訳	岩瀬商工会	1	0
	長沼商工会	1	0
	大東商工会	1	0
	鏡石町商工会	3	0
	天栄村商工会	1	0
新規取引先開拓件数／社		1	0

●自己評価

- ▼商談会や物産展出店については、今年度もコロナ禍ということもあったためか特に支援要望がなく、商談会等の情報提供のみを行った。今後も各事業所のニーズを把握し、必要に応じて支援を行っていききたい。
- ▼SNS 活用については、昨年度以上に専門家による個別相談を増やし、SNS の初期設定から投稿、活用までを支援することができた。今後は、更なるレベルアップを目指し、より売上増加に繋がるようなウェブマーケティングを意識した SNS 活用支援を行っていききたい。
- ▼支援を行った事業所の Google マイビジネスのインサイト機能などをもとに分析を行ったところ、SNS 個別相談において支援を行ってきたことで、閲覧数やフォロワーなどの数値が増加しており目に見える成果が確認できた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価		4	3	3

●評価委員によるコメント

- ・コロナ禍のため、出展及び開拓が困難であったと思われる。
- ・個別相談会はもっと増やしても良いと思う。
- ・ECサイトへの出品はぜひ取り組んで欲しい。
- ・コロナ禍により商談会等支援実績が無かったのはやむを得ない。コロナによりECサイト等のITを活用した販路拡大は益々有効なツールになると思われる。
- ・SNSセミナーについては非接触型の販売、商談等がアフターコロナ対策として重要と考える。
- ・新たな需要開拓に向けて、ITツールの活用は必須であり、SNS等、活用の幅を広げることは重要と考える。その中で、ITセミナー、個別相談会を通し、受講事業者のITスキルのバラツキを解消する取り組みは評価できる。
- ・事業者が外部の反応を確かめるという目的で販路開拓支援は重要だと考える。様々な声を基に、新たな商品開発や商品改良に取り組んで頂けることを期待する。

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

●計画概要

外部有識者（中小企業診断士等）、市町村担当者、岩瀬管内 5 商工会から選出された事業者代表、福島県商工会連合会、法定経営指導員で構成する「評価検討委員会」を毎年度 1 回以上開催する。委員会では、経営発達支援事業の実施状況、成果について評価・検証を行う。評価・検証の結果は、各商工会の理事会等で報告する他、岩瀬商工会のホームページで公開する。

●実施内容

①評価検討委員会の開催

(1) 第 1 回経営発達支援計画評価検討委員会（中間報告）

日 時 令和 3 年 10 月 28 日（木）

場 所 岩瀬商工会館

内 容 令和 3 年度 経営発達支援事業について

(2) 第 2 回経営発達支援計画評価検討委員会（実績報告）

日 時 令和 4 年 2 月 15 日（火）

場 所 岩瀬商工会館

内 容 令和 3 年度 経営発達支援事業の実績報告について

令和 4 年度 経営発達支援計画に基づく事業(案)の骨子について

●自己評価

▼2 回の評価検討委員会を開催し、経営発達支援事業の実施状況、成果について評価・検証をして頂くことができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	7	3		

●評価委員によるコメント

- ・委員の意見をぜひ次年度に反映して欲しい。
- ・適宜、評価検討委員会が開催されていた。
- ・評価検討委員会においては、経営発達支援事業の理解に向けた取組みとなっている。本委員会においては、事業者からの要望を行政機関に伝える事や、様々な支援施策を事業

者に伝える等、相互にとって有用な機会となっており、商工会はその施策を直接的に事業者へ伝え、支援するという役割を十分に担っているものと思われる。

8. 経営指導員等の資質向上に関すること

●計画概要

小規模事業者の経営発達に資するために、経営指導員及び経営支援員の資質向上を図る必要がある。経営分析や事業計画作成、コミュニケーションスキルなど支援ノウハウを習得し、共有することで実効性のある経営支援に取り組める環境整備を行う。

●実施内容

①職員向け研修会受講による資質向上

- ・中小企業支援担当者研修「IT活用による伴走支援の進め方」10/5-7(中小企業大学校)
- ・広域連携事例発表会及び小規模企業支援能力向上研修会 10/12(ホテル華の湯)
- ・課題別研修会「インボイス制度導入対策編」9/16(WEB)
- ・課題別研修会「ITリテラシー向上編」10/22(WEB)
- ・課題別研修会「改正電子帳簿保存法対策編」12/1(WEB)
- ・課題別研修会「改正電子帳簿保存法施行後の電子取引データ保存対策編」2/8(WEB)

②情報共有による資質向上

専門家による個別相談の際には、必ず経営指導員及び経営支援員が同席し支援することで、実務を通じて専門家の高度なノウハウやスキルを学ぶ機会とした。又、管内経営指導員による経営支援会議の際、支援ノウハウの共有を図った。(経営支援会議3回開催)

●自己評価

▼福島県商工会連合会主催のセミナー等に積極的に参加し、支援ノウハウの習得に努めた。
また、専門家の個別相談に同席し共に支援することで、専門家の高度な支援ノウハウを学ぶことができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1		

●評価委員によるコメント

- ・経営支援会議は3回からもっと開催した方が良い。
- ・各種研修に参加し、スキルアップに取り組んでいる。
- ・経営指導員の資質向上になるので、勉強をしていくことは良いことだ。
- ・本取組は、他の支援機関との連携、経営指導員、経営支援員のスキル向上を目的とし

て、実践的な支援を通して様々な知識、手法の習得を行ったものと思われる。

- ・実施内容についてもインボイスや電子帳簿保存法、IT とより実践的なものであり、会員への周知を進め、商工会の取組成果を事業者及び地域に還元し、地域経済を支える存在を高めることを期待する。

9. 他支援機関と連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

●計画概要

小規模事業者の支援を推進するため、他の支援機関との連携により、効果的な支援の実施及び支援ノウハウの共有を図る。

●実施内容

①小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会

日時：令和3年11月8日（月）

場所：オンラインで実施

内容：日本政策金融公庫が主催。郡山支店管内の経済状況や金融動向、近隣各地区の景況等の情報交換を行うことで連携を密にし、事業計画作成スキルの向上と円滑な資金繰り、融資支援のノウハウ等の共有を図った。

②小企業者記帳指導協議会

日時：令和4年1月14日（金）

場所：須賀川市民温泉2階会議室

内容：須賀川税務署、東北税理士会須賀川支部との連携により、管内の景況等の情報交換を行う他、税務支援のノウハウの共有を図った。

●自己評価

▼金融機関や税務署、税理士会との連携により情報交換、支援ノウハウの共有を図ることができた。コロナ禍で会議等の開催に制約がある中、会議のオンライン開催等も行い連携を図った。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5		

●評価委員によるコメント

- ・ノウハウの共有ができていた。
- ・他の支援機関と連携し情報交換が図れている。
- ・コロナ禍の中、様々な支援機関と連携を図り、一体として事業者支援を行うことは大変重要なことと思われる。今後はオンライン会議により、より効率的な連携体制を構築することも有用と思われる。

10. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

●計画概要

須賀川市・天栄村・鏡石町各行政や地域経済関連団体等との懇談を通して、岩瀬地域の活性化に関する事業提案や方向性の検討を行う。

●実施内容

・岩瀬管内市町村長と商工会長等との懇談会

日時：令和3年12月22日（水）

場所：岩瀬商工会館

内容：経営発達支援計画に基づく事業の推進について首長と懇談を行った。

●自己評価

▼市町村長等との懇談会では、経営発達支援計画に基づく事業の推進や地域の課題解決に向けて有意義な懇談を行うことができた。又、日頃から須賀川市・天栄村・鏡石町各行政と担当者レベルでの連携を密にとりながら事業を行うことができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1		

●評価委員によるコメント

- ・行政との懇談会等を行うことにより連携が深まり有意義だと思われる。
- ・官民で話し合いができる機会があるのは良いことだと思う。
- ・昨年に引き続き、行政、地域経済団体との連携体制の構築と発展は、地域活性化実現に向けて大変重要なポイントとなる。本年度は、種々の地域振興事業は中止が多く地域経済の停滞の状況が続いている。
- ・経営発達支援計画は地域振興に対する支援の柱として大きな期待を受けている。その実現に向けてコロナ禍の中でも実現できる新しい事業スタイルを模索していくことが重要と考える。

●全体的な感想・意見

- ・各商工会職員の努力に感謝致します。
- ・経営発達支援計画も2期目を迎え、より事業者のニーズに沿ったものになっている。今後も地域経済の発展の為に尽力頂きたい。

●評価委員長総括

- ・本年度より第 2 期経営発達支援計画事業のスタートとなります。第 1 期に引き続き、様々な事業を通じ、地域の小規模事業者の持続・発展に寄与してきたものと考えます。また、支援の運営、実行を行うことで経営指導員、経営支援員のスキルアップも行われてきたと思われま

す。更には、地域振興を行政機関と連携して行うことで、地域課題の包括的な把握や共有の役割も果たしてきました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により思うように実施できない事業や、厳しい環境下における対応も支援機関には求められます。

様々な社会環境変革の中で、経営発達支援計画における事業遂行は今後の事業者支援、地域振興において商工会の存在感が幅広く捉えられる機会となっています。

第 2 期の経営発達支援計画事業においては、より魅力的な商工会として成長を続けることを期待します。